

# チャレンジとくしま芸術祭2018



## 受賞者発表会

入場無料  
ADMISSION FREE

3.17 & 3.18



## AWARD WINNER'S PRESENTATION

### 展示部門 EXHIBITION

2018年3月17日[土]、18日[日] 9:30~17:00(18日は16:30まで)  
徳島県立近代美術館展示室3

#### ●受賞者 AWARD WINNERS

- グランプリ ..... Ogra Kentaro (絵画)  
準グランプリ ..... 現代楽器 (絵画・工芸)  
チャレンジ奨励賞 ..... オイワイオイワイ●ほりえかずよ(消しゴムはん画)  
山橋 大二郎(ミクストメディア)／住友 知江(糸績み)  
MIP賞 ..... トリマー@パパン(写真、絵画、詩)

### パフォーマンス部門 PERFORMANCE

2018年3月18日[日] 13:30開場 14:00開演 (16:30終演予定) ※途中入場可能  
徳島県立二十一世紀館イベントホール

#### ●受賞者 AWARD WINNERS

- グランプリ ..... ときめきダンスカンパニー四国(「創作ダンス」&「言葉」)  
準グランプリ ..... メルト(けん玉パフォーマンス)  
チャレンジ奨励賞 ..... ときめきGOLD(手話ダンス)／徳島市立高等学校 ダンス部(ダンス)  
MIP賞 ..... (公財)阿波人形浄瑠璃振興会・友和嘉会 藤本 智大(素淨瑠璃(義太夫節))



※グリーン購入法適合製品を使用しています。

様々な表現活動を行っている人や、あこがれを持っている人たちに、ひろく活動発表の場を提供し、未来へ羽ばたく徳島発のアーティストを発見・支援しようという「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭」。今回で9回目となるこの芸術祭は、去る1月16日から28までの間、県立近代美術館を会場に、絵画、彫刻、工芸、服飾などの「展示部門」と、音楽、ダンス、演芸、浄瑠璃などの「パフォーマンス部門」の二部門で開催されました。出品・出演されたのは、公募と抽選で選ばれた徳島県出身または在住の皆さん。年齢も経験も問わらず、事前の審査もないことから、老若男女、初心者からプロ級までの才能豊かでユニークなアーティストたちが集まりました。展示部門は約5mの壁面、パフォーマンス部門は15分以内、という条件でグランプリを巡って競いあい、厳正な審査の結果、受賞者が決定。そして、このたび受賞者の皆さんによる「受賞者発表会」を開催します。

さらにパワーアップした受賞者の作品をお楽しみください。

## 受賞者・受賞作品のご紹介

※1月28日15時より、徳島県立近代美術館ロビーにて「チャレンジとくしま芸術祭2018表彰式」が開催されました。

## 展示部門 EXHIBITION

1月16日[火]～28日[日]  
徳島県立近代美術館展示室3

参加者数39組  
※展示場所は抽選で決定しました。

### ▼審査員(順不同 敬称略)

内藤 隆(鳴門教育大学大学院准教授)  
佐原 理(徳島大学大学院准教授)  
大和たきみ(フリーアナウンサー)  
後藤 英与(徳島県立近代美術館長\*審査委員長)  
森 芳功(徳島県立近代美術館企画交流室長)



◀準グランプリ  
現代楽器【絵画・工芸】  
3人組のユニットで初参加、初受賞。  
  
〔受賞理由〕  
インタラクティブな自由さがあり、見る人を巻き込んでいく、前向きな楽しさがある。アイデアや設定の物語性も面白く、制作プロセスに興味がわく。他の作品も見てみたい。  
  
〈現代楽器〉 2017年  
アクリル、和紙、布、木材など



◀チャレンジ奨励賞  
オイワイオイワイ●ほりえかずよ  
【消しゴムはん画】  
3回目の参加で初受賞。  
  
〔受賞理由〕  
淡い色彩が美しく、やわらかな脱力感の中に生き生きとしたものを感じる。徳島をアピールしていくうとするチャレンジも評価したい。



◀チャレンジ奨励賞  
山橋 大二郎  
【ミクストメディア】  
第1回から通算7回目の参加で初受賞。  
  
〔受賞理由〕  
自身の体験と小説の世界を結びつけながら、スケッチの形に提示していった展示構成が面白く、独特の印象をもって伝わってきた。



◀チャレンジ奨励賞  
住友 知江【糸績(う)み】  
2回目の参加で初受賞。  
  
〔受賞理由〕糸績(う)みから織るまでの工程、また個人から地域へ広げていこうとしたプロセスが、生きる姿に重なって見え、壮大なチャレンジを感じた。徳島にゆかりのある素材に、苦労しながらも取り組んでいる点も評価したい。



◀MIP賞  
トリマー@パバパン  
【写真、絵画、詩】  
パフォーマンス部門への出場経験もあり、展示部門には初参加で初受賞。  
  
〔受賞理由〕社会現象に目を向け、負の部分を世の中に訴えていく難しさに挑んでいる。そのことを自らの職業の立場から、また美術の分野からチャレンジしている点が印象に残る。

## 受賞者発表会

### ▼展示部門 EXHIBITION

3月17日[土]、18日[日] 9:30～17:00(18日は16:30まで)  
徳島県立近代美術館展示室3

### ▼パフォーマンス部門 PERFORMANCE

3月18日[日] 13:30開場 14:00開演(16:30終演予定)  
徳島県立二十一世紀館イベントホール ※途中入場が可能です。

- ▼グランプリ [部門ごとに各1組]  
挑戦の度合い、表現の質の高さ、将来性などの総合力がもっとも認められるもの
- ▼準グランプリ [部門ごとに各1組]
- ▼チャレンジ奨励賞  
[展示部門は3組まで、パフォーマンス部門2組まで]  
※該当者のある場合のみ
- ▼MIP(モーストインプレッシブイヤー賞)  
[部門ごとに各1組] ※該当者のある場合のみ  
最も印象に残ったと認められるもの

## パフォーマンス部門 PERFORMANCE

### パフォーマンス部門 グランプリ

1月21日[日]  
徳島県立近代美術館ロビー

参加者数17組  
※上演順は抽選で決定しました。

### ▼審査員(順不同 敬称略)

山口 雅人(株式会社エフエムびざんプロデューサー)  
加藤 十(イベントプランナー)  
佐藤 陽香(徳島新聞社石井支局記者)  
若林 優佳(ダンス講師)  
中本 順明(文化の森振興本部長)  
徳島県立二十一世紀館長\*審査委員長

ときめきダンスカンパニー四国  
【創作ダンス】&【言葉】

女子中学生のダンスチーム。初出場でグランプリの栄冠に輝きました。

〔受賞理由〕  
セリフを組みあわせたストーリー性のある構成力と、セリフに負けない指先や髪の毛にまで思いを込めた表現力、そして思春期の出演者の、その世代にしか出せない等身大の魅力が相まって、強く訴えかける力のあるダンスとなっていました。



◀準グランプリ  
メルト【けん玉パフォーマンス】  
大学生ジャグラー。初出場での受賞。

〔受賞理由〕  
高度なけん玉のテクニックをさりげなく見せてくれた。出演者の飾りのない人柄も手伝って、純粹に楽しむことができた。大道芸のニュージャンルが垣間見える期待感を感じさせた。



◀チャレンジ奨励賞  
ときめきGOLD  
【手話ダンス】

人生経験豊かな女性グループ。初出場での受賞。

〔受賞理由〕手話を取り入れた新しさが目を引いた。それを表情豊かに楽しく舞台全体を使って大きく表現しており、また曲のアレンジも光っていた。



◀チャレンジ奨励賞  
徳島市立高等学校 ダンス部  
【ダンス】

5年連続出場。4連続で受賞(グランプリ1回、チャレンジ奨励賞3回)の実力校。

〔受賞理由〕異なった雰囲気のダンスを多数繰り出し、衣装やメイクも工夫され、ダンスの合間のつなぎもスムーズで、飽きさせない構成であった。見る人を楽しませようとする思いと、さらに高みを目指す貪欲さはひとくわ目を引いた。



◀MIP賞  
(公財)阿波人形浄瑠璃振興会 友和嘉会(ともわかかい)  
藤本 智大【素淨瑠璃(義太夫節)】

初出場の小学2年生。将来が楽しみです。

〔受賞理由〕キャラの短い年少者でありながら、徳島の伝統芸能に懸命に取り組む点に将来性とチャレンジ性を感じた。また、語り出した瞬間に聴衆を引きつける雰囲気を持っており、才能の開花に期待したい。